

## 1. 単元名 「日本の国土と世界の国々」

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1) 教材化

本単元では、世界の大陸と主な海洋の位置や広がり、主な国の位置、それらと我が国との位置関係、我が国の国土を構成する主な島の名称と位置、我が国の北端、南端、東端、西端の島などを含めて6800以上の島を含む我が国の領土などを基に、我が国の国土の概要や特色について理解するようにします。尚、領土の範囲については竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることに触れるようにします。その際、これら我が国の立場は、歴史的にも国際法上にも正当であることを踏まえて指導するようにします。

#### (2) 学習過程

本単元では、世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、例えば、我が国は世界のどこに位置しているか、国土はどのような島々から成り立っているか、我が国の領土はどの範囲かなどの問いを設けて、調べたことを総合して我が国の特色を考えたりして調べたことや考えたことを表現するようにします。また、「主な国」の取り上げ方としては、近隣諸国を含めてユーラシア大陸やその周りに位置する国々の中から10か国程度、他の大陸（南極大陸を除く）やその周りに位置する国々の中から各々2か国程度選択することが考えられます。その際、それらの国の名称や我が国との位置関係を世界地図や地球儀で確認させ、産業に関する学習などにおける基礎的な情報となるように指導することが大切です。

#### (3) 学習活動

我が国の国土の様子について、地図帳や地球儀、衛星写真などの資料で国土の位置や構成、領土の範囲を調べてまとめられるようにします。ここでは地図帳や地球儀などを用いて、方位や位置関係、範囲などを読み取る技能、調べたことを適切にまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

我が国の国土の様子について、世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、地図帳や地球儀、各種資料などで調べ、まとめ、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現することを通して、世界における我が国の位置、国土の構成、領土の範囲などを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとしたりする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ、多数の島からなる国土の構成などについて、地図帳や地球儀、各種資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、我が国の国土の様子について理解している。 ②調べたことを白地図や表などにまとめ、世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを理解している。	①世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ、多数の島からなる国土の構成などに着目して、問いを見出し、我が国の国土の様子について考え表現している。 ②我が国の位置や形状、面積などの情報を総合して、我が国の国土の特色を考え、表現している。	①我が国の国土について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

5. 単元の構想と評価（5時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>①②世界には六大陸と三海洋があることや数多くの国があることについて知り、世界における我が国の国土の特色について、問いを見出し、解決に向けて学習計画を立て主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>知っている国の名前と位置を言い表そう</p> <p>世界地図・国旗（教科書）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界にはたくさんの国があるんだね。</li> <li>それぞれの国に国旗があることが分かったよ。</li> </ul> <p>地球儀</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緯度や経度を使うと国の位置が分かりやすくなるね。</li> <li>日本はどこにあるのかな。日本についても調べたいね。</li> </ul> <p><b>（単元を見通す学習問題）</b> 世界の中で日本はどのような特色がある国なのだろうか</p>	<p>○六大陸と三海洋を知り、日本の国土の位置に意識を向けられるように、地球儀や世界地図を提示するようにする。</p> <p>○ユーラシア大陸やその周りに位置する国々の中から10か国程度、他の大陸（南極大陸を除く）やその周りに位置する国々の中から各々2か国程度扱うようにする。</p> <p>○国旗についても扱うようにする。</p> <p>○緯度や経度に着目できるよう、見つけた国の位置を交流する活動を取り入れる。</p> <p>（知－①） 地球儀や地図帳から世界の主な大陸と海洋の名称について調べ、理解している。</p> <p>（思－①） 世界の主な大陸と海洋の名称や主な国の位置などに着目して問いを見出している。</p>
<p>予想をもとに、学習計画を立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の東には太平洋があるね。</li> </ul> <p><u>位置的な広がり</u>に着目している予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国やロシアが近くにある。</li> </ul> <p><u>空間的な広がり</u>に着目している予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>島がたくさんあるね。国土は小さい国だと思うよ。</li> <li>地球儀や地図帳を使って調べよう</li> </ul> <p><b>日本は世界のどこにあるのだろう。日本の位置や国土の広がりについて調べていきたいな。</b></p>	<p>○日本の特色について前時の学習を取り上げることで位置や広がりに着目して予想が立てられるようにする。</p> <p><b>（態－①）</b> 我が国の国土について、学習問題の解決にむけ、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>
<p>③世界における我が国の国土の位置について、地球儀や地図などを用いて調べ、分かるようにする。</p> <p>日本は世界のどこにある国なのだろうか</p> <p>世界地図・地球儀</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本はシドニーの北、約7800kmのところにあるんだ。</li> </ul>	<p>○位置や空間的な広がりに着目できるように、二点間の距離や方位、緯度や経度を取り上げて、我が国の国土の位置を捉えるようにす</p>



## 1. 単元名 「自然条件と人々の暮らし」 ～あたたかい地域の暮らし～

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1) 教材化

本単元は、我が国の地形は全体としてみると山がちで平野が少ないこと、我が国の気候には四季の変化が見られること、国土の南と北、太平洋側と日本海側では気候が異なることなどを基に、我が国の国土の自然環境について理解するようにします。また、我が国には地形や気候などの自然条件から見て特色ある地域があること、人々は自然条件の中で工夫しながら生活していること、人々は自然条件を生かして野菜や果物、花卉の栽培、酪農、観光などの産業を営んでいることなどを基に、我が国の国土の様子と国民生活について理解するようにします。

事例地の選定に当たっては、自分たちの住んでいる地域の自然条件と異なる地域を、特色ある地形条件の地域と気候条件の地域をそれぞれ一つずつ取り上げることになっています。例えば山地や低地など特色ある地形条件の地域と、温暖多雨や寒冷多雪など特色ある気候条件の地域の中からそれぞれ一つ取り上げ、自然環境に適応しながら工夫して生活したり、自然条件を生かしながら産業を営んだりしていることを具体的に学習できるようにすることが考えられます。

#### (2) 学習過程

本単元では、地形や気候に着目して、例えば、我が国の地形や気候にはどのような特色があるか、人々は地形条件や気候条件をどのように生かしているかなどの問いを設けて調べたり、国土の位置と地形や気候を関連付けて国土の特色を考えたり、国土の自然環境と国民生活の関連を考えたりして調べたことや考えたことを表現するようにします。

#### (3) 学習活動

本単元では、我が国の国土の様子と国民生活について、立体模型、統計、写真などの資料で地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の様子を調べて、白地図などにまとめるようにします。ここでは、地図帳や地球儀を用いて、方位や位置関係などを読み取る技能、調べたことを適切にまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

我が国の国土の様子と国民生活について、地形や気候などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料などで調べてまとめ、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形や気候の概要及び人々が自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとしたりする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
①地形や気候などについて地図帳や地球儀、各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を理解している。 ②調べたことを文や表などにまとめ、我が国の国土の地形や気候の概要及び人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。	①地形や気候などに着目して、問いを見出し、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活について考え、表現している。 ②地形や気候の条件と人々の生活や産業の工夫などを比較・関連付け、総合などして国土の自然環境の特色を考え、適切に表現している。	①我が国の国土の様子と国民生活について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

### 5. 単元の構想と評価（8時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">①②我が国の地形や気候などについて地図帳や各種の資料などで必要な情報を集め、読み取り、分かるようにする。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">小笠原諸島と知床の気温のグラフ</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">知床と奥日光の気温のグラフ</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小笠原諸島と知床は、南北に離れているから気温差があるんじゃないかな</li> <li>・奥日光は知床よりだいぶ南にあるのに気温は変わらないよ</li> <li>・山の方は気温が低いと思うよ</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">日本の気候と地形はどんな特色があるのだろうか</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">山脈や平野の名前を地図帳で調べ、白地図に書き込もう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国土の全体を見ると山地が多いなあ</li> <li>・知床と奥日光は標高差が違うよ。地形は気温と関係があるね</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">気温と降水量のグラフを読み取ろう</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">日本各地の気温と降水量のグラフ</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">台風の進路の図</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">夏と冬の季節風の図</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本各地を比べると気温だけでなく、降水量にも違いがあるね</li> <li>・降水量の違いは山地だけでなく、季節風の影響もあるんだ</li> </ul> <p><b>日本の地形は山地が多く、海沿いに平野が広がっているね。気候は地域ごと気温や降水量に違いがあるけど、特に梅雨や台風の影響でも各地域で変化するね。また季節風と国土の中央にある山地の影響で冬は日本海側に多く雪が降り、太平洋側は良く晴れるなどの特色があるね。</b></p>	<p>○地形と気候の関係に気付かせるために山脈や平野、川の名前が書き込める白地図を用意する</p> <p>○山地や平野などの用語は、その意味を確認しながら進めても良い</p> <p>○グラフの読み取り方を丁寧に指導することが大切である</p> <p>(知一①) 我が国の地形や気候などについて地図帳や各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、理解している</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">③川崎市と沖縄県の気候の様子が分かる写真や雨温図を比べて、気候の違いに気づき、沖縄の人々がどのような生活をしているのか問いを見出し、学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">川崎市、沖縄県の冬の写真</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県の冬は暖かそうだね。</li> <li>・川崎市は寒いけど雪はあまり降らないね。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">川崎市、沖縄県の雨温図</div>	<p>○同じ季節の写真から気候の違いを気づかせるためにどのような違いがあるのかを問うようにする。</p>

- ・川崎に比べて沖縄は平均気温が高いね。
- ・沖縄県は夏の雨の量が多いね。台風が多いからだ。
- ・川崎市と比べてあたたかい地域の生活の様子が気になるな。調べてみたいね。

**(単元を見通す学習問題)**

川崎市と比べてあたたかい沖縄県では、どのような生活をしているのだろうか

予想をもとに、学習計画を立てよう

<調べる視点>

- ・どんな仕事をしているのか、沖縄県の産業について調べよう。
- ・家のつくりや有名な食べ物など、沖縄県の人々の生活について調べよう。

<調べる方法>

- ・資料で調べたり、沖縄県で暮らす人の話を聞いたりしたいな。
- 沖縄の人々はあたたかい自然環境を生かして、どのような生活をしているのか、産業やくらしの視点から調べていこう**

④沖縄県のあたたかい気候を生かして行われる産業にはどのようなものがあるのか分かるようにする。

沖縄県の年間の観光客数

- ・わたしも沖縄県に旅行に行ったことがあるよ
- ・観光に関する産業が盛んなのかな。

沖縄県では、あたたかい気候を生かしてどのような観光がさかんなのだろうか

- ・やっぱり夏に、海に行く人が多いんじゃないかな

沖縄県の行事カレンダー

沖縄県の行事等の写真

沖縄県で観光案内をする人の話

- ・美しい海だけでなく、食事や踊りなど沖縄独自の文化を楽しむ人も多いんだね
- ・冬でも楽しめる行事が多いことに驚いたな

**沖縄県では、美しい海だけでなく、あたたかい気候を生かして1年中たくさんの行事が行われているね。また沖縄独自の文化や歴史などを楽しむことができる観光がさかんに行われているね。だから多くの観光客が沖縄県を訪れるんだね**

(思一①)

川崎市と沖縄県の気候の違いに着目し、問いを見出している。

(態一①)

気候や地形に特色のある地域の人々の生活について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。

(知一①)

沖縄県の観光について調べ、必要な情報を集め、沖縄県はあたたかい気候を利用して行われていることを理解している。

⑤沖縄のあたたかい気候を生かして行われる産業にはどのようなものがあるのか分かるようにする。

沖縄県のあたたかい気候を、どのようにして農業や漁業に生かしているのだろうか

- ・パイナップルやマンゴーが有名だよ
- ・他にもあたたかい地域で作られるものって何かな。

沖縄県の主な農作物の作付面積

沖縄県で多く生産されている農産物や水産物

東京都の市場に出荷された小ぎくの数

電照菊の写真

沖縄県では、さとうきび、パイナップルやマンゴー、もずくなど、あたたかい気候を生かした産業が行われているね。また、寒い冬の時期に栽培しにくい菊も、沖縄では気候を生かして栽培することができるんだね

⑥川崎市と沖縄県の家づくりの違いから、沖縄県の気候と人々の生活の工夫を関連付けて考え、表現するようにする。

川崎の家の写真と沖縄県を家の写真

- ・沖縄県の伝統的な家は、石垣で囲まれている。
- ・1階建てで、川崎より戸やまどが大きいね。
- ・コンクリート造りで屋根が平らだよ。

なぜ、沖縄県の家は、川崎の家とはつくりが違うのだろうか

- ・沖縄のあたたかい気候とかんけいがありそうだね

防風ネットをかけた家の写真

地方ごとの台風が近づいた回数のグラフ

台風による被害を受けたビニルハウスの写真

- ・石垣や防風林、しっくいかわらが飛ばないようにしているね。
- ・大きい戸や窓で風を通して暑さや湿気をしのいでいるんだ。
- ・平らな屋根やコンクリート造りの家も、台風が関係しているね。

沖縄は他の県より暑く、台風もたくさん上陸している。だから、暑さや台風に対応した家の工夫をし、生活しているね。

(知-①)

沖縄の産業について調べ、必要な情報を集め、沖縄県があたたかい気候を利用して行われていることを理解している。

○雨温図は、沖縄と川崎を比較するもとにするため、常掲しておくといよ。

(思-②)

沖縄県で暮らす人々が夏の暑さや台風に対応した工夫をしている様子に関連づけて考え、表現している。

⑦⑧これまでに調べたことをリーフレットにまとめることで自然条件に特色のある地域の生活の様子やそこでくらす人々の工夫について分かるようにする。

**(単元を振り返る学習問題)**

川崎市と比べてあたたかい沖縄県では、どのような生活をしているのだろうか

調べて分かったことをリーフレットにまとめよう

これまでの学習のノートへの記述と教室掲示

沖縄では、台風が多く降水量が多いが、土地が狭く、川も短いため水不足になりやすく、貯水タンクを作ったり、台風や蒸し暑さに対応した家をつくったり、工夫をしている。また、冬でもあたたかい気候を生かした農業が行われている。

自然条件に対応したり、自然条件を生かして生活したり、より生活しやすくするために努力しているんだね。

日本の他の場所ではどのように生活しているのだろうか。同じように自然条件を生かしているのかな。

○既習を生かして考えられるように、ノートや学習のまとめの掲示物をふり返るように声をかける。

(知一②)

調べたことを文にまとめ、沖縄の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。

## 1. 単元名 「自然条件と人々の暮らし」 ～高地の暮らし～

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1) 教材化

本単元では、我が国には地形や気候などの自然条件から見て特色ある地域があること、人々は自然条件の中で工夫しながら生活していること、人々は自然条件を生かして野菜や果物、花卉の栽培、酪農、観光などの産業を営んでいることなどを基に、我が国の国土の様子と国民生活について理解するようにします。

事例地の選定に当たっては、自分たちの住んでいる地域の自然条件と異なる地域を、特色ある地形条件の地域と気候条件の地域をそれぞれ一つずつ取り上げることになっています。例えば山地や低地など特色ある地形条件の地域と、温暖多雨や寒冷多雪など特色ある気候条件の地域の中からそれぞれ一つ取り上げ、自然環境に適応しながら工夫して生活したり、自然条件を生かしながら産業を営んだりしていることを具体的に学習できるようにすることが考えられます。

#### (2) 学習過程

本単元では、地形や気候に着目して、例えば、我が国の地形や気候にはどのような特色があるか、人々は地形条件や気候条件をどのように生かしているかなどの問いを設けて調べたり、国土の位置と地形や気候を関連付けて国土の特色を考えたり、国土の自然環境と国民生活の関連を考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

#### (3) 学習活動

本単元では、我が国の国土の様子と国民生活について、立体模型、統計、写真などの資料で地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の様子を調べて、白地図などにまとめるようにします。ここでは、地図帳や地球儀を用いて、方位や位置関係などを読み取る技能、調べたことを適切にまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

我が国の国土の様子と国民生活について地形や気候などに着目し、地図帳や地球儀、各種の資料などで調べたりしてまとめ、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにして、主体的に学習問題を追究解決しようとする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地形や気候などについて地図帳や地球儀、各種資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を理解している。 ②調べたことを文や表などにまとめ、我が国の国土の地形や気候の概要及び人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。	①地形や気候などに着目して、問いを見出し、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活について考え表現している。 ②地形や気候の条件と人々の生活や産業の工夫などを比較・関連付け、総合などして国土の自然環境の特色を考え、適切に表現している。	①我が国の国土の様子と国民生活について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

5. 単元の構想と評価（6時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<div data-bbox="172 264 975 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 川崎市と長野県の野辺山原の気候の違いに気づき、野辺山原の人々がどのような生活をしているのか、問いを見出し、学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> </div> <div data-bbox="172 495 544 566" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>川崎市と野辺山原の標高</p> </div> <div data-bbox="172 591 938 674" style="margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野辺山原の周りには高い山が多く川崎市より標高が高いね。</li> <li>・沖縄県のように、くらしや産業に何か特徴があるのかな。</li> </ul> </div> <div data-bbox="172 696 970 869" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>（単元を見通す学習問題）</b> 川崎市と比べて標高が高い野辺山原の人々は、どのような生活をしているのだろうか</p> </div> <div data-bbox="172 891 815 963" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>野辺山原の雨温図と地形図（教科書・地図帳）</p> </div> <div data-bbox="172 987 815 1059" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>野辺山原の牧場・野辺山原の乳製品（教科書）</p> </div> <div data-bbox="172 1081 695 1144" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想をもとに、学習計画を立てよう</p> </div> <div data-bbox="172 1167 363 1198" style="margin-top: 10px;"> <p>&lt;調べる視点&gt;</p> </div> <div data-bbox="172 1216 991 1346" style="margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酪農や乳製品を作っているね。その他の野辺山原の産業について調べよう。</li> <li>・高地で夏でも涼しい野辺山原の人々のくらしについて調べよう。</li> </ul> </div> <div data-bbox="172 1357 363 1388" style="margin-top: 10px;"> <p>&lt;調べる方法&gt;</p> </div> <div data-bbox="172 1406 991 1536" style="margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料で調べたり、野辺山原で暮らす人の話を聞いたりしたいな。 <b>野辺山原の人々は高地で涼しい自然環境を生かして、どのような生活をしているのか、産業やくらしの視点で調べよう。</b></li> </ul> </div>	<div data-bbox="1021 546 1430 768" style="margin-top: 10px;"> <p>○地形の違いに気づかせるようにする。また、一般的には標高が上がると気温が下がることを補足し、理解できるようにする。</p> </div> <div data-bbox="1021 882 1430 1012" style="margin-top: 10px;"> <p>○沖縄の学習を生かして学習計画を立てるために、前単元を振り返らせる。</p> </div> <div data-bbox="1021 1070 1430 1249" style="margin-top: 10px;"> <p>（思—①） 地形や気候などの自然条件に着目して、問いを見出している。</p> </div> <div data-bbox="1021 1308 1430 1585" style="margin-top: 10px;"> <p>（態—①） 地形や気候に特色のある地域の人々に生活について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p> </div>
<div data-bbox="172 1630 975 1727" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>② 高地の自然条件を生かした野辺山原のレタスづくりの様子について分かるようにする。</p> </div> <div data-bbox="172 1749 639 1812" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>レタスを収穫する写真（教科書）</p> </div> <div data-bbox="172 1834 759 1865" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>野辺山原の主な農産物の作付面積（教科書）</p> </div> <div data-bbox="172 1883 847 1966" style="margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野辺山原では多くのレタスを育てて収穫しているね</li> <li>・野辺山原の自然条件と関係があると思うな。</li> </ul> </div> <div data-bbox="172 1989 975 2051" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>野辺山原では、どうしてレタスづくりがさかんなのだろうか</p> </div>	

・野辺山原は夏でも涼しいからレタスが育つ条件と比べてみよう。

レタスの生育条件

・葉物野菜であるレタスは、暑さに弱いんだ。  
・レタス作りは、酪農と同じように、自然条件を生かしているね。

**高地にある野辺山原では、夏でも涼しい気候を生かして、暑さに弱いレタスなどの葉物野菜を育てている。酪農と同じように、その土地の自然条件を生かして産業を行っているんだね。**

③ レタスの出荷時期がほかの産地と異なることから、野辺山原で気候を生かしたレタス栽培が行われていることを分かるようにする。

東京都の市場に出荷されたレタスの量（教科書）

・レタスは一年中出荷されているけど、7月から9月のレタスのほとんどが野辺山原のある長野県産のレタスだね。

野辺山原では、どうして他の地域と時期をずらしてレタスを出荷しているのだろうか

・11月から3月までは、長野県産はほとんどないね。他の地域から出荷されているってことだね。  
・夏場の暑い時期は、暑さに弱いレタスは他の地域では育てにくいんじゃないかな。野辺山原では、出荷できるから、市場としても助かるし、よく売れると思うよ。

野菜づくり農家の話（教科書）

・朝早く収穫することでよりおいしいレタスを出荷するための努力をしているんだね。  
・気候を生かすだけでなく、低温で運べるトラックを使うなど新鮮なままとどける工夫もしているよ。

**野辺山原では、夏の涼しい気候を利用して他の産地では出荷しにくい時期に出荷することで安定した収入を得られるように工夫している。おいしいレタスをその日のうちにお店に届けるために夜中に収穫する工夫をしているね。**

④ 高地である野辺山原にくらす人々は、自然条件を生かすために、荒れた土地を開拓するなど努力して、自然環境に適応して生活していることを分かるようにする。

(知一①)

各種資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、自然条件と生産が関係していることを理解している。

○長野県産のレタス出荷が多い時期と少ない時期に注目させることで自然条件との関係に気付けるようにする。

(知一①)

各種資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、自然条件と生産が関係していることを理解している。

開拓される前の野辺山原 と 今の野辺山原の野菜畑 (教科書)

- ・昔は何もなくて草原が広がっているだけだね。
- ・野菜畑にするためには土地を変えていかないといけないね。

何もない草原だったところに、どのようにして野菜作りをさかんにすることができたのだろうか

- ・広い土地だから、簡単にできることじゃないよね。
- ・ものすごく時間もかかりそうだよ。

土地の開拓が始まったころの野辺山原 (教科書)

野辺山原の主な野菜の作付面積の変化 (教科書)

- ・高地の気候をさらに生かすために努力したんだね。
- ・やせた土地を栄養のある土に変えたから葉物野菜が作られるようになったんだね。

**野辺山原では、自然条件を生かせるようにするために大変な思いで開拓したんだね。そこには、きびしい自然条件をしのごための努力があると思う。現在は栄養のある土地となり、自然条件を生かした葉物野菜が作られるようになったんだ。**

⑤⑥ 学んだことをもとに、我が国の国土の地形や気候の概要及び人々が自然環境に適応して生活していることが分かるようにし、沖縄県と野辺山原を比較して、国土の自然環境の特色を考え、表現するようする。

#### (単元を振り返る学習問題)

川崎市と比べて標高が高い野辺山原の人々は、どのような生活をしているのだろうか

調べて分かったことをリーフレットにまとめよう

これまでの学習のノートへの記述と教室掲示

**長野県の野辺山原では、野菜が育てられない土地を野菜が作れる土地に改良していたよ。夏でも涼しい気候を利用してたくさんレタスが作るようになったんだ。つまり、気候や地形を生かして野辺山原の人々は生活しているね。**

沖縄県と野辺山原の様子を表にして、比べて考えよう

- ・2つの地域を表にまとめて比べると違いや似ていることがはっきりするね。

○だいこんの作付面積が減ったこととレタスの作付面積が増えたことを比較して考えられるようにする。

(知一①)

地形や気候の条件と人々の生活を比較・関連付け、総合などして野辺山原の自然環境の特色を考え、適切に表現している。

○2つの地域に共通していることをつかませるために産業、特産品、人々の暮らし、の視点で表にまとめる

(思一②)

学習したことを整理することで、特色ある地域の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考え、表現している。

沖縄県でも野辺山原でも暖かい気候や夏でも涼しい気候を生かして色々な産業を行っていたね。また、家のつくりを考えたり、土地を改良したりして、厳しい気候や地形に対して多くの努力や工夫をして生活をしてきたよ。つまり、沖縄県の人でも野辺山原の人でも、自然条件を生かして生活していることに気が付いたよ。

(知一②)

調べたことを文章などにまとめ、人々は自然環境に適応して生活していることを理解している。

## 1. 単元名 「米づくりのさかんな地域」

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1)教材化

本単元では、我が国では様々な食料を生産していること、それぞれの土地や気候を生かして食料の生産地が広がっていることなどを基に、我が国の食料生産の概要について理解するようにします。また、農業の盛んな地域の人々が、新鮮で良質な物を生産し集荷するために生産性や品質を高める様々な工夫や努力を行っていること、生産し輸送、販売する工程で費用が発生すること、輸送方法や販売方法を工夫することにより収益を上げていることなどを基に、食糧生産に関わる人々の工夫や努力について理解するようにします。

本単元では、国民の主食を確保する上で重要な役割を果たしている「稲作」について必ず取り上げるようにします。なお、第3学年では地域の農産物を生産する仕事を通して地域社会に対する理解を深めることに、第5学年では我が国の農業について理解を深めることに、それぞれねらいがあることに留意することが大切です。

#### (2)学習過程

本単元では、食料生産の概要について、例えば、どこでどのようなものが生産されているか、食料はどのように生産されているか、人々はどのように協力しているか、食料生産技術はどのように向上してきたか、食料はどのように運ばれるか、食料の価格はどのように決まるかなどの問いを設けて調べたり、食料生産に関わる人々の工夫と努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

本単元では、学習したことを基に、生産性や品質を高める工夫を消費者や生産者の立場に立って、これからの農業における食料生産の発展に向けて自分の考えをまとめることができるよう指導することが大切です。その際、生産者の立場からは、農産物の生産では、農業法人などを設立して取り組んでいること、温室等の設備により出荷時期を工夫していることや、低価格という観点だけでなく手間をかけて高品質なものや付加価値のあるものを生産し海外に輸出していることが考えられます。また、消費者の立場からは、安全性の確保や環境への負荷の軽減などの意識が高まっていること、低価格のものだけでなく、高品質のものや希少性のあるものを求める傾向もみられることなどを取り上げることが考えられます。

#### (3)学習活動

地図帳や地球儀などを用いて、国内の主な生産地を調べ、白地図にまとめることや、統計、写真などの資料やコンピュータなどを使って、食料生産に関わる人々の工夫や努力を調べて、図表にまとめるようにします。ここでは、統計などの資料やコンピュータなどを適切に使って情報を集める技能、地図帳や地球儀を用いて位置や経路、広がりや分布などを読み取る技能、仕事の工程や協力関係を図表などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

我が国の稲作における食料生産について、生産量の変化、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目し、地図帳や地球儀、各種の資料などで調べてまとめ、稲作に関わる人々の工夫や努力を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割やその働きを考え、表現することを通して、米づくりに関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとしたり、学習したことを基に消費者や生産者の立場などからこれからの農業について、多角的に発展を考えようとする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①米の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などについて地図帳や地球儀、各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、米づくりに関わる人々の工夫や努力を理解している。 ②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、米づくりに関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。	①米の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見出し、米づくりに関わる人々の工夫や努力について考え、表現している。 ②米づくりに関わる仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて、米づくりに関わる人々の働きを考えたり、学習したことを基に、消費者や生産者の立場などからこれからの農業について、多角的に発展を考えたりして表現している。	①我が国の稲作における食料生産について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に消費者や生産者の立場などからこれからの農業について、多角的に発展を考えようとしている。

### 5. 単元の構想と評価（12時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p data-bbox="172 280 956 414">①②毎日のご飯を食べているという事実から、我が国の稲作についての問いを見出し、学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p data-bbox="172 436 542 481">3日間の主食調べ集計結果</p> <ul data-bbox="172 504 766 537" style="list-style-type: none"> <li>・わたしたちは、ほぼ毎日ご飯を食べているね。</li> </ul> <p data-bbox="172 560 826 616">田んぼの写真と食卓に並べられた米飯の写真</p> <ul data-bbox="172 638 965 772" style="list-style-type: none"> <li>・毎日当たり前のご飯を食べていたけれど、どうやって作られて、私たちの食卓まで運ばれているかはよく知らないな。</li> </ul> <p data-bbox="191 795 909 952"><b>（単元を見通す学習問題）</b> 米はどこで、どのようにつくられ、私たちのもとまで届いているのだろうか</p> <p data-bbox="172 974 678 1041">予想をもとに、学習計画を立てよう</p> <p data-bbox="172 1075 359 1108">&lt;調べる視点&gt;</p> <ul data-bbox="172 1120 614 1254" style="list-style-type: none"> <li>・どこで米が作られているのかな</li> <li>・どうやって米を作っているのかな</li> <li>・どうやって米を運んでいるのかな</li> </ul> <p data-bbox="172 1265 359 1299">&lt;調べる方法&gt;</p> <ul data-bbox="172 1310 694 1400" style="list-style-type: none"> <li>・米袋を集めて産地を調べよう</li> <li>・資料やインターネットを使って調べよう</li> </ul> <p data-bbox="172 1411 965 1489">わたしたちのもとまでお米が届くまでにはたくさんの人たちが関わっていきそうだね。次の時間から調べていこう。</p> <p data-bbox="172 1556 965 1657">③産地調べを通して調べ、必要な情報を読み取り、普段食べている米がどこでつくられているのか、分かるようにする。</p> <p data-bbox="172 1668 758 1736">お米は、どこでつくられているのだろうか</p> <p data-bbox="172 1758 510 1814">自分たちで集めた米袋</p> <ul data-bbox="172 1836 742 1926" style="list-style-type: none"> <li>・米袋には、北海道や新潟県と書いてあるよ。</li> <li>・どのあたりが生産が多いのかな。</li> </ul> <p data-bbox="172 1937 694 1993">都道府県別の米の生産量を表すグラフ</p> <ul data-bbox="172 2027 510 2060" style="list-style-type: none"> <li>・新潟県が一番多いんだね。</li> </ul>	<p data-bbox="997 257 1436 492">○ご飯が私たちの食生活に欠かせないものであると感じられるように、米、パン、麺など「どんな主食をとっているか」を事前にアンケート調査し、提示する。</p> <p data-bbox="997 548 1436 683">(思－①) 我が国の稲作について問いを見出している。</p> <p data-bbox="997 1164 1436 1444">(態－①) お米が自分たちのもとまでどのように届いているかについて、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p> <p data-bbox="997 1792 1436 1971">○それぞれが調べた産地が一目でわかるようにするために、日本の白地図にシールを貼るようにする。</p>

・東北地方に生産が多い県がかたまっているね。

わたしたちがふだん食べているお米は、新潟県や北海道、東北地方などでたくさん生産されているんだね。自然環境が関係しているのかな。調べてみたいな

④米づくりが盛んな地域では、土地や気候などの自然条件を生かして稲作を行っていることを分かるようにする。

米づくりが盛んな地域はどんなところなのだろうか

- ・たくさん収穫できるように、広い土地があるところかな。
- ・野辺山原では、涼しい気候を生かした高原野菜づくりが盛んだったよね。稲作も気候条件が関係していると思うよ。
- ・東北地方や北海道、新潟県の共通点は雪が降るところだね。

南魚沼市の空撮写真 南魚沼市の土地利用図

- ・たくさんのお田があるね。
- ・大きな川が近くに流れているんだね。
- ・広い平野になっているんだね。

南魚沼市の雨温図 農家の三輪さんの話

- ・南魚沼市は日本海側にあるから冬に雪が多いんだね。

米づくりが盛んな地域は平らな土地が広がっていることや大きな川がそばを流れている地域だね。特に南魚沼市の農家の人たちは豊富な雪解け水や、昼夜の気温差が激しいことなど自然条件を生かして米づくりを行っているんだね。

⑤必要な資料を読み取り、情報を集め、米のつくり方について分かるようにする。

お米はどうやって作られているのだろうか

米づくりカレンダー

- ・米づくりには、たくさんやるべきことがあるんだね。
- ・気候に合わせて水の温度を管理するのは、大変そう。
- ・収穫するまですごく忙しそうだ。

農家の三輪さんの話

- ・じょうふな苗と栄養分のあるよい土をつくるのが大切なんだね。

(知一①)

普段食べているお米がどこで作られているかについて必要な情報を集め、読み取り理解している。

○米づくりと気候や地形などの自然条件の関係について着目するために、沖縄県で暮らす人々が温暖な気候を生かしている例や野辺山原で暮らす人々が涼しい気候を生かしている例などを振り返るようにする。

○米作りの盛んな地域の自然条件の共通点に気が付くことができるよう、南魚沼市以外も地図帳を活用して土地利用などを調べるようにする。

(知一①)

我が国の稲作は、土地条件や気候条件を生かしながら行っていることを理解している。

○種もみの準備から収穫まで、様々な作業を行う必要があることをとらえられるようにするために、米づくりカレンダーをもとに調べるようにする。

米づくりはほぼ一年間を通して行われているんだね。種もみを選ぶところから稲刈りをするまで、様々な仕事をしているよ。気候に合わせて水を管理したり、土づくりをしたりして工夫しているんだね。

⑥短い労働時間で多くの米を生産するために行われてきた取り組みに着目して、米づくりに携わる人々の工夫や努力について分かるようにする。

10 a あたりの米の生産量のグラフ

労働時間の変化のグラフ

- ・米の生産量は増えているのに、年々作業時間が減っているんだね。

なぜ昔よりも収穫量が増えているのに、作業時間が減っているのだろうか

- ・昔は手作業で今は機械を使っているからじゃないかな。
- ・作業を分担しているのかもしれないよ。
- ・お米自体が育ちやすくなったのかな。

農作業と農業機械のうつり変わり

- ・トラクターを使ったら、田おこしの時間が減ったね。
- ・田植えは人の手でやると 10 時間もかかるんだ。
- ・機械化が進んで作業が楽になったんだね。

おもな農業機械の所有台数の変化

- ・機械の台数が減っているね。
- ・機械化には機械代や燃料代がかかるんだね。
- ・地域で機械を共同で買う工夫をしているんだね。

耕地整理の前後の図

- ・昔は畑が多かったんだね。
- ・水田を増やしにくい地域だったんだ。
- ・水田をつくるためにいろいろと整備したんだね。

昔よりも収穫量が増えているのに作業時間が減っているのは、機械化が進んでいるからだね。田んぼの形を整える耕地整理をして機械を使いやすくしているよ。

(知一①)

資料を読み取り、必要な情報を集めて、米の生産工程について理解している。

○グラフの変化をとらえやすくするようにするため、年ごとに順に提示するなどグラフの提示の仕方を工夫するようにする。

○予想をしやすくするために、前時の米づくりカレンダーや米づくりについてまとめた資料等を活用するようにする。

(知一①)

より短い労働時間で多くの米を生産するために行われてきた取り組みや改善に着目して、米づくりに携わる人々の工夫や努力について理解している。

⑦米農家の人たちは、消費者のニーズに応えるために、安全でおいしい米をつくっていることを分かるようにする。

保護者アンケート（米を買うときに大切にしていること）

- ・おいしさは大切だよね。
- ・産地や銘柄で決めている人もいるんだね。
- ・安心・安全な米を選んでいる人が多いんだ。

米農家の人たちは、安全でおいしい米をどうやってつくっているのだろうか

- ・農薬を使わないでつくっているんじゃないかな。
- ・農薬を使わなかったり、減らしたりすると害虫が増えてしまうんじゃないかな。

水田に放されたかもの群れ

- ・雑草や害虫を食べてくれるんだね。
- ・稲の根をふむことでじょうぶになるんだね。
- ・ふんは肥料になっているんだ。

農薬や化学肥料にたよらないくふう

- ・使いすぎると人体によくないんだね。
- ・土や稲にも心配があるんだね。
- ・様々な工夫をして化学肥料に頼らないようにしているね。

農家の三輪さんの話

- ・水をしっかりと管理することを大切にしているよ。
- ・大切な知識はずっと受け継がれているんだね。

**米農家の人たちは、アイガモ農法や人の体に害が少ない農薬を使って、稲を育てている。わたしたちに安全でおいしいお米を届けるために工夫しているんだね。**

⑧品質の良い米を生産するために、米づくりに携わる人々が協力して工夫や努力していることを分かるようにする。

全国で多く作付けされたコメの生産量の変化

- ・コシヒカリが50年前に比べて生産量が増えているね
- ・自然環境に適しているから、昔から生産量が多いわけではなかったんだね。

○消費者がより安全な米を求めていることがとらえられるよう、事前に保護者からアンケートをとる。

○三輪さんの工夫に気がつくようにするために、かもを放したり、化学肥料の使用をおさえたりすることにどんな良さがあるのか考えるように声をかける。

○三輪さんの努力について考えていけるようにするために、一つ一つの取り組みにはどんな意味があるのか考えるように声をかける。

(知一①)

三輪さんが米づくりを工夫したり、努力したりして自然や昔からの伝統を大切にしていることについて資料から調べ、理解している。

米農家の人たちは、どのようにして米づくりを改善してきたのだろうか

品種改良についての図や話（南魚沼コシヒカリ誕生秘話）

- ・味を良くしたり、病気に強くしたりするために、違った性質の品種をかけあわせるんだね。
  - ・コシヒカリも品種改良によってつくられたんだ。
  - ・米農家の人たちと農業総合研究所の人が協力しているんだね
- 米農家の人や農業総合研究所の人が協力をして味を良くしたり、病気に強くするために品種改良をしたりして新しい品種をつくるなどの改善をしてきたんだね**

⑨ 稲作の出荷や輸送するための協力や工夫について分かるようにする。

スーパーなどに売られている米の様子

- ・長い時間がかかってようやく売られているね。
- ・たくさん努力して作っていたね。
- ・どうやってお店までもってくるのかな。

生産した米はどのようにわたしたちのもとへ届くのだろうか

産地直送の米がとどくまで JA のカントリーエレベーター

- ・農協（JA）に出荷しているんだね。
- ・道路や高速道路が使われているね。
- ・輸送費もお米の値段に含まれるんだね。

農家の三輪さんの話

- ・みんなに安心して買ってもらいたいんだね。
- ・消費者に質が良く、おいしい米を届けたいんだね。
- ・農家の人みんなで売りたいんだね。
- ・消費者の希望も聞いて作っているんだね。

**生産者の人たちは、質が良く、おいしい米が届けられるように工夫をして出荷しているね。消費者のニーズに合わせてみんなが安心して食べられるように考えているんだ。**

⑩ これまでに調べたことを図表にまとめ、米づくりに関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを分かるようにする

○「魚沼コシヒカリ誕生秘話」は新潟県庁の HP からダウンロードできる。

(知一①)

より高い品質の米を生産するために行われてきた取り組みや改善に着目して、米づくりに携わる人々の工夫や努力について理解している

○農家の方が作った米は出荷されるという事に意識が向くようにするために、販売されている米の写真を提示する。

○生産者から消費者までの流通の流れをとらえるようにするために図を提示する。

○三輪さんの思いや消費者のニーズに込めていることが分かるようにするために、資料の大切な所を確認する。

(知一①)

稲作の出荷や輸送のための工夫について資料で調べ、情報を集め、理解している。

○これまでの学習を生かして項目ごとにまとめていくように

**(単元を振り返る学習問題)**

米はどこで、どのようにつくられ、私たちのもとまで届いているのだろうか

調べて分かったことを図表にまとめよう

これまでのノート、資料、掲示物

日本の稲作は、気候や土地などの自然条件を生かして、東北地方や新潟県、北海道で盛んに行われており、一年中作業を行っておいしいお米をつくっている。また、安全な米をつくるために農薬の量を減らして工夫している。米を運ぶ人も鮮度を保つ工夫をしたり衛生面に気を配ったりする努力をしている。たくさんの方の工夫や努力があって、わたしたちはおいしいお米を食べることができているんだね。

①日本の米づくりの問題について知り、学習計画を見直して、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする。

三輪さんの話

- ・米の消費量は減り続けているんだ。
- ・悩んでいるのは三輪さんだけなのかな。

米づくりをしている人たちにはどのような悩みがあるのだろうか

米の生産量と消費量の変化

- ・生産量も消費量も下がり続けているよ。
- ・米を作る量が減ってきたら農家の人たちはどうなるのかな。

米づくりをやめた水田と新たに始めた水田の面積の変化

- ・新しく始める水田はほとんどないんだね。
- ・このままだと水田がなくなってしまうね。

農業で働く人の数の変化

- ・農業をやめてしまっている人が多いねね。
- ・60才以上の人ばかりがで若い人が農業をしていないね。

米づくりをする人や農家が減少し、若い人たちの働き手も減っている。そして、米の消費も減っているから生産も減ってきている。このままでは、日本のお米が食べられなくなってしまうかもしれないね。農家の人たちは何かしているはずだよ。どのような取り組みがあるのか調べてみよう。

する。

(知-②)

これまでに調べたことを図表にまとめ、米づくりに関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。

(態-①)

我が国の稲作における食料生産について、これまでの学習を振り返り、新たな問いを見出している。

⑫我が国の今後の稲作について多角的に発展を考え、表現するようにする。

米づくりに関わる人たちは、課題に対してどのような取り組みをしているのだろうか

生産組合による農業の共同化

- ・みんなでお金を出し合っているんだね。
- ・機械や設備を一緒に使っているんだ。
- ・一人一人の負担を少なくする取り組みなんだね。

米の新しい販売方法

- ・農家から直接買うことができるんだね。
- ・農家の方や作り方まで分かるんだね。

有機 JAS 認定米

- ・農薬や化学肥料を一切使っていないんだ。
- ・より安全で、環境にも優しいんだね。

農業の技術や喜びを伝えていく取り組み

- ・関心をもってもらうことが大切なんだね。

今後の農業の発展について自分の考えを書こう

三輪さんや農家の人たちは、悩みや問題を抱えているけれど安心で安全なお米を作るだけでなく、環境や日本の農業全体のことを考えて新しいことにチャレンジしている。日本の農業の未来を考えて前向きに取り組むことはとても素晴らしいと思う。だから、私たちもその考えや取り組みについて関心をもって生活することが大切だと思った。

○消費者の立場から考えられるようにするために、有機栽培の良さ(安全性、環境への負荷がかからないことなど)について簡単に説明する。

(思-②)

消費者や生産者の立場から日本の将来の稲作について多角的に発展を考え表現している。

(態-②)

学習したことを基に多角的に日本の稲作の発展を考えようとしている。

## 1. 単元名 「水産業のさかんな地域」

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1) 教材化

本単元では、我が国では様々な食料を生産していること、それぞれの土地や気候を生かして食料の生産地が広がっていることなどを基に、我が国の食料生産の概要について理解するようにします。また、水産業の盛んな地域の人々が、新鮮で良質な物を生産し集荷するために生産性や品質を高める様々な工夫や努力を行っていること、生産し輸送、販売する工程で費用が発生すること、輸送方法や販売方法を工夫することにより収益を上げていることなどを基に、食糧生産に関わる人々の工夫や努力について理解するようにします。

尚、本単元は、国民の食生活と関わりが深い「野菜、果物、畜産物、水産物など」の中から一つを選択して取り上げるようにします。事例の選択にあたっては、第3学年の「地域に見られる生産の仕事」において取り上げた事例に配慮する必要があります。例えば、野菜の生産を取り上げて学習してきた場合には、果物、畜産物、水産物などの生産の中から事例を選択することが考えられます。なお、第3学年では地域の農産物を生産する仕事を通して地域社会に対する理解を深めることに、第5学年では我が国の農業について理解を深めることに、それぞれねらいがあることに留意することが大切です。

#### (2) 学習過程

本単元では、食料生産の概要について、例えば、どこでどのようなものが生産されているか、食料はどのように生産されているか、人々はどのように協力しているか、食料生産技術はどのように向上してきたか、食料はどのように運ばれるか、食料の価格はどのように決まるかなどの問いを設けて調べたり、食料生産に関わる人々の工夫と努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

本単元では、学習したことを基に、生産性や品質を高める工夫を消費者や生産者の立場に立って、これからの水産業における食料生産の発展に向けて自分の考えをまとめることができるよう指導することが大切です。その際、生産者の立場からは、水産物の生産では、魚群探知や養殖などに最新の技術を使っていることや持続可能な漁業を目指し水産資源を保護していること、さらに、生産・加工・販売を関連付けた、いわゆる「6次産業化」の動きなど新しい取組を取り上げることが考えられます。また、消費者の立場からは、安全性の確保や環境への負荷の軽減などの意識が高まっていること、低価格のものだけでなく、高品質のものや希少性のあるものを求める傾向もみられることなどを取り上げることが考えられます。

#### (3) 学習活動

地図帳や地球儀などを用いて、国内の主な生産地を調べ、白地図にまとめることや、統計、写真などの資料やコンピュータなどを使って、食料生産に関わる人々の工夫や努力を調べて、図表にまとめるようにします。ここでは、統計などの資料やコンピュータなどを適切に使って情報を集める技能、地図帳や地球儀を用いて位置や経路、広がりや分布などを読み取る技能、仕事の工程や協力関係を図表などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

我が国の水産業における食料生産について、生産量の変化、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目し、地図帳や地球儀、各種の資料などで調べてまとめ、水産業に関わる人々の工夫や努力を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割やその働きを考え、表現することを通して、水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解しているとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとしたり、学習したことを基に消費者や生産者の立場などからこれからの水産業について、多角的に発展を考えようとする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などについて地図帳や地球儀、各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、水産業に関わる人々の工夫や努力を理解している。</p> <p>②調べたことを白地図や図表や文などにまとめ、水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。</p>	<p>①生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見だし、水産業に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。</p> <p>②生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用を関連付け、水産業に関わる人々の働きを考えたり、学習したことを基に、消費者や生産者の立場などからこれからの水産業について、多角的に発展を考えたりして表現している。</p>	<p>①我が国の水産業について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に消費者や生産者の立場などからこれからの農業について、多角的に発展を考えようとしている。</p>

単元の構想と評価（8時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>①自分たちがよく食べている水産物の種類や産地に注目して日本の水産業について関心をもち学習問題を見出し解決に向けて、学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>飲食店で見かける水産物（教科書）</p> <p>魚売り場で見かける水産物（教科書）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この間、回転寿司に行ってマグロやブリを食べたよ。</li> <li>・水産物のパッケージには産地が書いてあるね。</li> <li>・養殖と書いてある魚もあるよ。他の魚と何が違うのかな。</li> </ul> <p>日本人の1日1人当たりの魚の消費量 &lt;1人当たり年間 24.6 kg&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全体で1日8000トンもの魚を食べているんだね。</li> </ul> <p><b>（単元を見通す学習問題）</b> 水産物はどこで、どのようにとられ、私たちのもとに届いているのだろうか</p> <p>予想をもとに、学習計画を立てよう</p> <p>&lt;予想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は海に囲まれているから、色々な所でとれると思うよ</li> <li>・たくさんの魚をとるために、何かしかけがあるのではないかな</li> <li>・鮮度を保ってお店まで届けるために、冷凍しているんだよ</li> </ul> <p>&lt;調べること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物の産地を調べよう。</li> <li>・漁の方法や漁船の設備を調べよう</li> <li>・だれがどのようにして魚を届けているのか調べよう。</li> </ul> <p><b>わたしたちのもとまで魚が届くまでにはたくさんの人たちが関わっていきそうだね。次の時間から調べていこう。</b></p> <p>②海流や大陸棚のある海にはたくさんのプランクトンが発生し、たくさんの魚がとれることを分かるようにする。</p> <p>私たちが食べる魚は、どこでたくさんとれるのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川の三浦でもたくさんとれるんじゃないかな。</li> </ul>	<p>○水産業について明らかにしたいことを出し合って整理し、単元を見通す学習問題をつくるようにする。</p> <p>○米づくりの学習なども振り返りながら、学習問題について予想し、予想を確かめるために何を調べればよいか考え、意見を分類・整理する。</p> <p>（思一①） 主な水産物の種類や分布などに注目して、問いを見出している。</p> <p>（態一①） 我が国の水産業について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>

日本の主な漁港と水揚げされる主な水産物の量 (教科書)

- ・海流があるところに大きな漁場がたくさんあるね。
- ・千葉県の銚子と静岡県焼津の漁獲量がとても多いよ。
- ・暖流と寒流がぶつかるところは良い漁場になるんだね。

よい漁場の自然条件 (教科書)

- ・豊富なプランクトンがいる潮目や大陸棚に魚が集まるんだ。  
**海流や地形など、自然環境が影響して、プランクトンが豊富に**  
**いる豊かな海でたくさんの魚がとれるんだね。**

③北海道・根室のさんま漁の様子に着目して、漁師が魚をどのようにとっているのか分かるようにする。

さんま (根室産) の写真 家庭でよく食べる水産物 (教科書)

- ・根室市はさんまの水揚げ量が多いんだね。
- ・知らなかった。根室でとれたさんまを食べていたんだ。
- ・さんまはどうやってたくさんとっているんだろう

さんま漁はどのような方法で行われているのだろうか

- ・網があったから、大きな網で一気にとっているんじゃないかな。
- ・一回の漁でどのくらいのさんまがとれるのかな。

さんま漁の様子 さんま漁船 (教科書)

- ・さんまが光に集まる習性を利用してたくさんとっているんだね。
- ・さんまは他の魚と比べて、一回の漁で、たくさんとれるんだ。
- ・ソナーを使って魚の群れを探しているんだね。

漁師さんの話 (教科書)

- ・長年の経験や「かん」も漁師には必要なんだね。
- ・とったさんまは氷を入れた冷たい海水につけているんだ。新鮮なままさんまを運ぶためなんだね。

**さんま漁の漁師さんたちは、経験を生かしながら、集魚灯、ソナーなどを活用して魚の習性を利用して効率的にとるとともに、鮮度を保つ工夫をしているんだね。たくさんさんまをとるためにいろいろな工夫や努力をしているんだ。**

④食卓に魚が届くまでに、漁港で働く人々や加工業、運輸に関わる人々が関わっていることを分かるようにする。

(知一①)

地図や統計などの資料を活用して、魚がたくさんとれる漁場やその理由を理解している。

○さんまが光に集まるという習性があることや、その習性を生かして漁がされていることが分かるようにする。映像資料があると理解しやすい。

(知一①)

資料から必要な情報を集め、読み取り、さんま漁の漁師の工夫や努力を理解している。

・とったさんまはどうやって私たちの食卓に届くのだろう。

さんまが食卓に届くまでに、どのような人々の工夫があるのだろうか

- ・市場でせりをして買っている人がいると思うな。
- ・トラックや船などで運ぶと思うよ。

根室港の様子 さんまの水揚げ作業 市場でのせり  
加工工場での箱詰め作業 (教科書)

さんまが届くまで さんまを輸送する主な交通手段 (教科書)

- ・せりでは水産物の質や水あげ量で値段が決まっているんだね。
- ・その後トラックで運ぶんだね。

加工工場の人のお話 (教科書)

運送会社の人のお話 (教科書)

- ・加工工場で働く人たちは、消費者に安全で新鮮なさんまを食べてもらえるように衛生面に気を付けて仕事をしているんだね。
- ・目的に応じて、飛行機やフェリー、トラックでさんまを運んでいるんだね。
- ・保冷トラックで運ぶことで、新鮮さをたもっているんだ。
- ・水揚げされてから2日でわたしたちの食卓に並ぶんだ。

**漁港の人、加工工場の人、運輸に関わる人など色々な人たちが新鮮さや安全性を保つために仕事をしているんだ。だから私たちの食卓に新鮮で安全なさんまが届くんだね。水産業に関わる人たちのおかげで私たちはおいしい魚を食べることができるんだね。**

⑤養殖業について調べ、時期を選ばずに安定して魚を供給している人々の工夫や努力が分かるようにする。

長島町の海と漁港・ぶりをすくい上げる写真 (教科書)

長養殖ぶりの都道府県別の生産量 (教科書)

- ・「養殖」って育てる漁業っていうのを聞いたことがあるよ。
- ・スーパーで「養殖」と書いてある魚を見たよ。
- ・鹿児島県は全国でも有数のぶりの養殖地なんだね。

養殖業では、ぶりをどのように育てて、出荷しているのだろうか

出世魚「ぶり」の説明 (教科書)

漁港で行われるぶりの養殖の一日の仕事 (教科書)

○複数の資料をもとに、水あげ後のさんまのゆくえについて順を追って調べ、漁港で働く人たちの工夫や努力、魚の値段と費用などについてわかったことを整理する。

○複数の資料をもとに、さんまの流通の流れについて順を追って調べ、運送会社の人たちの工夫や努力、輸送手段の違いについてわかったことを整理する。

(知一①)

資料から必要な情報を集め、読み取り、水産業に関わる人々の工夫や努力を理解している。

- ・出荷するまで3年も育てるんだね。
- ・長島町はぶりを育てやすい自然環境なんだね。
- ・人が管理しているから、品質も良くておいしい魚が育てられるんだね。

養殖業者Mさんの話（教科書）

養殖ぶりの生産量の変化（教科書）

- ・たくさんのぶりを育てるのには、エサやりがとても大切なんだね。
- ・トレーサビリティの仕組みで効率的に情報を管理しているんだ。
- ・エサや薬で海が汚れないように気を使っているんだね。

**長島町ではぶりの育ちやすい自然環境を生かして養殖業を行っているんだね。養殖業は、品質がよく安全性の高い魚を計画的に育てて安定して出荷できるようにしているんだね。**

⑥調べたことを図表や文などにまとめ、水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを分かるようにする。

**（単元を振り返る学習問題）**

水産物はどこで、どのようにとられ、私たちのもとに届いているのだろうか

調べて分かったことを図表にまとめよう

これまでのノート、資料、掲示物

**水産業も米作りと同じで、自然環境を生かして行われています。漁師は効率的に魚を獲るだけでなく鮮度を保つための工夫や努力をしていた。出荷に関わる人たちや運送業の人達も鮮度や安全性を保とうとしていた。養殖業の人達は、計画的においしい魚を育てて出荷できるようにしていた。水産業に関わるたくさんの人の工夫や努力があって、私たちは新鮮で安全な魚を安心して食べることができるんだね。**

⑦日本の水産業の課題について知り、学習計画を見直して、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする。

○ぶりの養殖とさんま漁とで似ている点、違う点を考えるようにする。

（知一①）

養殖業の特色やそれに関わる人々の工夫や努力を理解している。

（知一②）

調べたことを図表にまとめ、水産業に関わる人々は生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして新鮮で安全な魚を届け、食料生産を支えていることを理解している。

さんまの生産量の変化 養殖ぶりの生産量の変化 (教科書)

日本の漁業生産量と水産物輸入量の変化のグラフ (教科書)

- ・養殖ぶりに比べてさんまの生産量は生産量の変動が大きいね。
- ・どうして生産量が減ってしまったの。

日本の水産業にはどんな問題があるのだろうか

- ・日本人の魚の消費量は減っているから、生産量が減っているかも。
- ・外国産の魚をスーパーで見たことがあるから輸入の問題もある。

200海里水域と日本の漁業の生産量 (教科書)

- ・国際ルールで遠洋漁業に制限ができたんだ。
- ・だから遠洋漁業の生産量が大きく減少したんだね。
- ・環境の変化で魚が獲れる場所も変わってしまったんだね。

加工工場の人のお話 (教科書)

- ・日本の漁業は安定して魚が獲れなくなってきているんだ。このままでは日本の漁業がなくなってしまうかもしれない。

**地球環境の変化や魚を獲る制限、食生活の変化で水産業は生産量と消費量が減少している。私たちが大人になった時に、日本の魚を食べることが難しくなるかもしれない。**

⑧水産業の課題を解決するための新しい技術や人々の取り組みに着目して、持続可能な水産業に取り組みについて調べ、今後の水産業に必要なことや水産業の発展について多角的に考えるようにする。

世界の水産物の消費量の変化 (教科書)

- ・世界全体では、魚の消費量が増えているよ。このままでは魚が食べられなくなってしまうかもしれない。

安定した生産を続けるために、どんな取り組みが行われているのだろうか

国際的な団体が認めた水産物の表示 (教科書)

完全養殖の仕組み さいばい漁業の様子 (教科書)

水産資源を計画的に守る取り組み (教科書)

水産資源を守り育てるための研究所 (教科書)

(態一①)

我が国の今後の水産業について、これまでの学習を振り返り、新たな問いを見出している。

○水産資源を守るために、いろいろな取り組みをして取り組んでいることが分かるようにする。

- ・魚だけじゃなくて、海や漁場も大切にしているんだ。
- ・海の環境を守る方法でとられた証がついている商品があるんだね。
- ・世界全体でも水産資源を守るために、「持続可能な開発目標」が決められたんだね。

漁師 H さんの話

今後の水産業の発展について自分の考えを書こう

- ・海や川を守るためには、森も守らなくてはいけないんだ。
- ・世界の国々とは、生産量を減少させないために、魚をとる制限をかけなければいけないんじゃないかな。
- ・より良質で、より新鮮な魚を生産することが求められると思う。
- ・外国とのルールをきちんとつくっていかないといけないな。
- ・自分たちも、今よりもちょっと魚を食べよう。
- ・里も海と繋がっていると聞いたから、流す水に気をつけよう。

**水産資源の守りながら魚を獲り続けるために、世界的に水産資源や自然環境を守るいろんな取り組みが行われているんだ。水産業を守り、これからも安定した生産を続けていくために、わたしたち消費者はこれからも感謝して魚を食べたり、環境を大切にしたりしていかなければならないね。漁師さん達も、加工・運輸などに携わる人たちも、水産資源を守りながら生産量を上げていく努力をしていた。これからもそれぞれの立場の人々、私たちが協力して水産業を守り、発展させていくことが必要だね。**

○水産業を安定して続けていくために大切なことは何か、水産業、消費者、世界の国々などの立場に分けて多角的に考えられるようにする。

(思-②)

持続可能な水産業の取り組みについて調べ、消費者や生産者の立場から今後の水産業に必要なことや水産業の発展について多角的に考えている。

(態-②)

学習したことを基に、多角的に水産業の発展を考えようとしている

## 1. 単元名 「これからの食料生産」

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1) 教材化

本単元では、食料生産は国民の生活を支えていること、食料の生産量は国民生活と関連して変化していること、食料の中には外国から輸入しているものがあることなどを基に、我が国の食料生産の役割について理解するようにします。すでに学習した稲作や水産業などと関連付けながら学習することが大切です。

#### (2) 学習過程

本単元では、食料生産の概要について、生産量はどのように変化しているのか、外国とどのようなかわりがあるかなどの問いを設けて調べたり、食料生産と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

#### (3) 学習活動

本単元では、地図帳や地球儀を用いて、国内の主な生産地や輸入相手国の位置などを調べ、白地図や図表などにまとめるようにします。ここでは、統計などの資料やコンピュータなどを適切に使って情報を集める技能、地図帳や地球儀を用いて位置や経路、広がりや分布などを読み取る技能、協力関係を図表などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

我が国の食料生産について、輸入など外国との関わりなどに着目し、地図帳や地球儀、各種の資料などで調べたりしてまとめ食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国の食料生産は、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解できるようにする。主体的に学習問題を追究解決しようとしたり、学習してきたことを基に消費者や生産者の立場などから、多角的に食料生産の発展を考えようとしたりする態度を養うようにする。

### 4. 評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性
①我が国の食料の輸出入品目や相手国、食料自給率など外国との関わりなどについて、地図帳や地球儀、各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の概要を理解している。 ②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、我が国の食料生産は、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。	①我が国の食料の輸出入品目や相手国、食料自給率など外国との関わりなどに着目して、問いを見出し、食料生産の概要について考え表現している。 ②我が国の食料生産と国民生活を関連付けて、食料生産が国民生活に果たす役割を考えたり、消費者や生産者の立場などから、多角的に食料生産の発展について考えたりして、適切に表現している。	①我が国の食料生産について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習してきたことを基に消費者や生産者の立場などから、多角的に食料生産の発展を考えようとしている。

5. 単元の構想と評価（4時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>①日本の食料生産の様子に関心をもって、問いを見出し、学習問題を予想したり見通しをもったりして主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>-----</p> <p>さまざまな食料の輸入の割合（教科書）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米は自給率が高いけれど、低いものが多いね。</li> <li>・私たちの毎日食事は、輸入が大きく関係しているね。</li> <li>・食料がどこからきているのか知りたいな。</li> </ul> <p>日本では、必要な食料をどのようにして調達しているのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物に行ったときに〇〇産という表示を見たことがあるよ。</li> </ul> <p>-----</p> <p>日本が食料を輸入している主な相手先（教科書）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど世界各国からきているね。</li> </ul> <p><b>日本の食料自給率は低いから、食料を確保するために世界各国から輸入している。輸入が多いことでどのような影響があるのか考えたいな。</b></p> <p>②輸入など外国との関わりなどについて調べ、輸入による影響や問題点について分かるようにする。</p> <p>食料の輸入には、どのような長所や短所があるのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸入があるからこそ、いろいろな食事ができているよ。</li> </ul> <p>-----</p> <p>国産と外国産の食料の値段（教科書）</p> <p>-----</p> <p>フードマイレージの解説（教科書）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸入によって、安く買えて、食生活が豊かになるんだ。</li> <li>・農家の人は輸入が増えると困ってしまうと思うよ。</li> <li>・輸入に頼っていると、災害時は食生活が不安定なるね。</li> </ul> <p><b>輸入している食料によって私たちの食生活が豊かになっているね。輸入農産物は安いから助かるね。でも、外国との競争がはげしくなると、国内の食料生産にも影響が出てくるんだね。輸入は、環境にも悪い影響を与えることもある。輸入にたよらないようにしないといけないのではないかな。</b></p>	<p>○稲作や水産業などの学習を関連付けて考えさせるとよい。</p> <p>（思一①） 食料の輸出入品目や相手国、食料自給率などに着目して問いを見出している。</p> <p>（態一①） 我が国の食料の確保について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p> <p>○食料の輸入について長所と短所、消費者と生産者の立場など多角的な視点でとらえられるようにする。</p> <p>（知一①） 輸入など外国との関わりなどについて、教科書や資料集などで調べて必要な情報を集め、読み取り、食料の輸入による影響を理解している。</p>

③国内の食料生産を守り続けていくための一つとして、地産地消のよさについて分かるようにする。

- ・輸入にたよらずに食料を確保する方法はないのかな。
- ・多くの客でにぎわう直売所（教科書）
- ・すごく多くのお客さんがいるね。何の店だろう。

地産地消には、どのようなよさがあるのだろうか

調べたことを文章にまとめよう

- ・作った人がわかるから安心だね。
- ・新鮮でおいしいものが手に入るね。
- ・輸送費がかからないから、その分、安くできると思うよ。

スーパーマーケットを営む会社の人の話（教科書）

- ・生産から販売まで管理できるので、質のよい作物を安く確実に届けられるね。

**地域で生産されたものは、安心して新鮮でおいしくて環境にもやさしいね。農家もたくさん買ってもらえるとうれしいよね。地産地消を進めることで、自給率が高くなってほしいな。**

④今までの学習をふまえて、我が国の食料生産について、消費者や生産者の立場などから、多角的に食料生産の発展を考えるようにする。

- ・国内の食料生産が発展して、輸入にたよらないで食料を確保できるようになるといいね。

国内の食料生産を発展させていくためには、どうしていけばよいのだろうか

農業を行う会社 野菜工場 野菜の直売所  
食品の輸出 地域ならではの食料生産（教科書）

- ・もっと地産地消が広がるといいね。
- ・室内工場での野菜の生産は、天候に左右されずに安定して生産できるね。
- ・日本の農産物は、味がよく、安心して食べられると外国からの評判がいいんだね。

**それぞれの立場の人々が、安定して食料を確保できるように、工夫や努力を続けていくことが大切だね。日本の食料を買って、日本の食料生産を応援していきたいな。**

○それぞれの地域の食料生産と消費を大切に「地産地消」という言葉があることを伝え、学習問題につなげるようにする。

(知一②)

調べたことを文などにまとめ、食料生産は、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。

○輸入に頼りすぎる問題の解決やこれからの食料生産の発展について考えていけるように、食料生産の発展につながる取り組みをいくつか紹介する。

○食料の生産量は、国民生活と関連して変化していることにも気付かせるようにする。

(思一②)

我が国の食料生産と国民生活を関連付けて、多角的に食料生産の発展について考えたりして、適切に表現している。

(態一②)

消費者や生産者の立場などから、多角的に食料生産の発展を考えようとしている。



## 1. 単元名 「自動車の生産にはげむ人々」

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1) 教材化

本単元は、工場で働く人々は優れた製品を生産するために様々な工夫や協力をしていること、工業生産には様々な工場が関連していること、我が国の工業生産は優れた技術を生かして消費者の需要や社会の発展に応える研究開発などの努力を行っていることなどを基に、工業生産に関わる人々の工夫や努力について理解するようにします。

本単元では、具体的事例については、「金属工業、機械工業、化学工業、食料品工業など」の中から一つを選択して取り上げるようにします。その際、児童の興味・関心や学習経験の広がりや考慮し、第3学年で取り上げた事例に配慮する必要があります。なお第3学年では地域の工場を通して地域社会に対する理解を深めることに、第5学年では我が国の工業生産について理解を深めることに、それぞれねらいがあることに留意することが大切です。

#### (2) 学習過程

本単元では、工業生産に関わる人々の工夫や努力について、例えば、工業製品はどのようにつくられているか、工場はどのように関連し合っているか、どのような技術を生かして生産しているかなどの問いを設けて調べたり、工業生産と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

本単元では、学習したことを基に、消費者や生産者の立場、人々の安全、環境、価格、利便性、バリアフリーなどに対する願いが工業生産により実現されることや優れた技術やその向上が我が国の工業をより発展させること、工業生産を通じた我が国と外国との関わり方など、我が国の工業の発展について自分の考えをまとめることが大切です。その際、新しい技術やそれを生かした工業製品を研究開発し、それらを輸出したりしていることや、高齢化社会への対応や環境への負担を少なくするために工業製品の開発に努力していることなどを取り上げ、今後の工業の発展について考えようとする態度を養うことなども考えられます。

#### (3) 学習活動

本単元では、統計や写真などの資料やコンピュータなどを使って、工業生産に関わる人々の工夫や努力を調べたりして図表などにまとめるようにします。ここでは、統計などの資料やコンピュータなどを適切に使って情報を集める技能、仕事の工程や協力関係を図表などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

我が国の工業生産について、自動車の製造工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目し、見学や聞き取り調査をしたり、各種資料などで調べたりして、図表などにまとめ、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することを通して、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとしたり、学習したことを基に今後の工業の発展について考えようとしたりする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて見学や聞き取り調査をしたり、各種資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、工業生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。	①製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、問いを見出し、工業生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ②工業生産に関わる人々の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、工業生産に関わる人々の働きを考えたり、学習したことを基に、消費者や生産者の立場などからこれからの工業について、多角的に発展を考えたりして表現している。	①我が国の工業生産について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に消費者や生産者の立場などからこれからの工業について、多角的に発展を考えようとしている。

5. 指導計画（11時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○） 具体的評価規準
<p>①②自動車の製造過程に着目して問いを見出し、学習問題や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>日本の自動車の生産台数の変化（教科書）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1935年と比べると、すごく増えたことがわかるね。</li> <li>・1935年ごろと比べると、今は性能がすごく高くなっているね。</li> </ul> <p><b>（単元を見通す学習問題）</b> 自動車をつくる人々は、どのようにして性能の高い自動車を大量に生産しているのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車がどのように作られているのかについて調べたいな。</li> </ul> <p>予想をもとに、見学の計画を立てよう</p> <p>&lt;予想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんど機械でつくっていると思うよ。</li> <li>・細かいところや検査は人がやっていると思うよ。</li> <li>・大量の部品は別の工場で作っているんだよ。</li> </ul> <p>&lt;調べること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな機械を使っているか、また人が作業することはあるか。</li> <li>・「安全」「大量生産」、「正確に早く」車をつくるための工夫は何かがあるか。</li> <li>・大量の部品はどこから来るのか。</li> </ul> <p>日本ではたくさんの自動車がつくられているんだね。どこで、どうやって自動車をつくっているのかな。視点に沿って工場を見学しよう。</p>	<p>○個々がグラフを見て気付いたことから、みんなで考えてみたいことを全体で共有できるようにする。</p> <p>○個々の疑問から、問題の解決に向けての学習計画を立てられるようにする。</p> <p>（思－①） 自動車の製造工程などに着目して問いを見出している。</p> <p>（態－①） 自動車の製造過程について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>
<p>③④⑤自動車工場を見学し、自動車の製造工程について調べまとめるようにする。</p> <p>自動車工場を見学しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車工場はとても広いんだね。</li> <li>・流れ作業で自動車をつくるんだね。</li> <li>・同じレーンに違う車が流れていたよ。</li> <li>・組み立てにはたくさんのロボットが作業を行っているね。</li> <li>・最後は人が検査をしていたよ。</li> </ul> <p>自動車工場では、たくさんの自動車をつくるために、作業に合わせて人や機械が働いていたり、あらかじめ作ったものを組み</p>	<p>○実際に工場見学ができない場合には、自動車会社のホームページなどを活用することも考えられる。</p> <p>（知－①） 自動車の製造工程について調</p>

立てたりするなど、様々な工夫をしているね。

⑥製造の工程について各種資料などで調べ、必要な情報を集め、読み取り、工業生産に関わる人々の工夫や努力を分かるようにする。

自動車工場で働く人の写真（教科書）

- ・機械だけでなく人の手も使って自動車を製造していたね。
- ・作業を行う人は貼り紙を見ながら作業していたよ。

なぜ機械だけでなく人の手も必要なのだろうか

自動車についていた指示書（教科書）

- ・1台1台注文にあった自動車をつくるために、指示書を見ながら作業を進めているんだね。
- ・取り付ける部品は注文した自動車によって違うから人の手も必要なんだね。

ラインで作業する人の話（教科書）

- ・一つのラインで、いろいろな種類の自動車をつくっているから、細かい作業は人の手が必要なんだね。
- ・部品をつける80%は人が行っているんだね。

**生産ラインでは作業に合わせて機械と人が行っているね。細かい作業や点検など正確さが必要なところは、人の手が必要なんだね。**

⑦関連工場と組み立て工場の結びつきについて各種資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、工場相互の協力関係について理解するようにする。

自動車のシート（出荷の写真）

- ・シートが出荷されているね。
- ・たくさんの部品はどこから運ばれてくるのかな。

自動車に使われている部品はどこでつくられているのだろうか

自動車工場と関連工場の結びつきの図（教科書）

- ・生産ラインが関連工場から組み立て工場まで続いているようだ。
- ・必要な数だけ、決められた時刻に届くようになっているんだね。

部品が届かなくなると（教科書の記述文）

- ・様々な場所にある関連工場と協力して自動車はつくられているんだ。1か所でも欠けたら自動車がつくれなくなるんだね。

**自動車工場と関連工場は協力しあって車を生産しているんだね。自動車工場へ間違いなく部品を届けられるように、工夫し**

べ、まとめている。

○見学で見えなかった工夫を6,7時間目で扱うようにする。

○考えの根拠がもてるように、自動車工場で働いていた人の様子を思い起こすように声をかける。

(知-①)

自動車工場で働く人々は、消費者の需要に対応するために、工夫や努力をしていることを理解している。

○大工場と関連工場（中小工場）の役割やつながりに気づけるように、多くの部品が関連工場で作られていることを資料から確認する。

(知-①)

関連工場と組み立て工場の結びつきについて資料を活用して調べ、工場相互の協力関係について

ているんだね。

⑧これまでに見学・調査したり、資料で調べたりしたことをまとめ、学習問題について話し合い、学習を見直すようにする。

自動車はどのようにしてつくられているのだろうか

これまでの学習を振り返って、まとめよう

これまでのノート、資料、掲示物

- ・人の力では大変な作業はロボットがしていたよ
- ・細かい作業や検査は人がしっかりと行っている。
- ・1台の車をつくるために、関連工場と協力しているんだね。

まだ、解決できていない問題について整理しよう

- ・完成した自動車はどうやって運ばれるのか。
- ・車の新しい性能や機能はどのように開発されているのか。

まだ分かっていないこともあるね。次の時間から調べていこう

⑧完成した自動車がどのように出荷されているのか分かるようにする。

完成車の写真と販売店の写真

- ・完成した車がびっしりと並べられているね。
- ・こんなにたくさんの車をどうやって運んでいるのかな。

完成した自動車は、どのようにして私たちのもとに運ばれてくるのだろうか

専用の船への積み込み作業、キャリアカーの写真(教科書)

- ・専用の船で一度にたくさんの船を運んでいる。
- ・高速道路を使って運ぶところもあるんだね。

積み込み作業をする人の話(教科書)

- ・たくさん積めるように工夫をしたり、傷をつけないように注意したりしているんだね。

完成した車は、多くの人に関わって、船やキャリアカーで運んでいるんだね。一度にたくさん運ぶ工夫や、傷をつけないように努力して運んでいることが分かったよ。

⑨どのような自動車が開発されているのか調べ、工業生産に関わる人々の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、工業生産に関わる人々の働きを考えるようにする。

理解している。

○学習問題の解決について見直すために、これまでの学習で分かったことを表などにまとめる

(態-①)

これまでの学習を振り返り、さらに調べることを見出し、見通しをもって追究しようとしている。

○見学時に聞いたことや資料等があったら参考にするよう声をかける。

(知-①)

完成した自動車は、様々な人々の工夫や努力によって運ばれていることを理解している。

近年開発された自動車のさまざまな機能（教科書）

- ・自動車の新しい機能は年々増えているね。

新たな機能を取り入れた自動車は、どのように開発されているのだろうか

自動車のさまざまな機能の例（教科書）

- ・自動でブレーキがかかる自動車があるよ。
- ・センサーがついているものや、カメラがついている車があって危険を知らせたり、周りの様子がわかったりするよ。

開発部門で働く人の話（教科書）

新しい自動車開発の流れ（自動車）

自動車による交通事故の件数グラフ（警察庁ホームページ等）

- ・新しい機能が交通事故の件数が減ることにつながっているんだ  
**自動車を作る人々は、消費者の様々なニーズにこたえて、新しい機能や技術の開発を進めているんだ。安全性だけでなく、便利さや快適さ楽しさなど、私たちの生活や乗る人のことを大切にして、新しい自動車づくりが行われているんだね。これからもよりよい自動車がつくられていくんだね。**

- ⑩ 調べたことを図表や文などにまとめ、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解するようになる

（単元を振り返る学習問題）

自動車をつくる人々は、どのようにして性能の高い自動車を大量に生産しているのだろうか

調べて分かったことを文章にまとめよう

これまでのノート、資料、掲示物

昔は一台ずつ組み立てていたけど、今はロボットも使いながら、流れ作業で組み立てているよ。また、細かい作業や検査は人が行うなど、機械と人が協力して、安全なクルマを作っているよ。そして、消費者のニーズに合わせて新たな車の機能を開発する人たちも多くの努力をしていたね。それだけでなく完成した車は、傷をつけないように無事に運ぶ仕事をする人たちも

- 自動車会社のパンフレットやホームページ等で調べる活動も考えられる。

（思-②）

工業生産に関わる人々の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、工業生産に関わる人々の働きを考え、表現している。

- 自動車生産を文章で表すために、これまでに学習して分かったことを図表などにまとめる。

- 文章でまとめる活動は、キャッチコピーを考え、それを表す活動も考えられる。

（知-②）

調べたことを図表や文などにまとめ、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。

自動車の生産に関わっていることが分かったよ。

⑩学習したことを基に、消費者や生産者の立場などからこれからの工業について、多角的に発展を考えるようにする。

これまでのノート、資料、掲示物

これからの自動車づくりには、どのようなことが求められるのだろうか

環境にやさしい暮らしをめざす (教科書)

だれもが移動しやすい暮らしをめざす (教科書)

自動運転のもたらす未来 (教科書)

工場でも (教科書)

- ・生産者の努力でもっとよい自動車ができると、私たちだけでなく、高齢者など様々な立場の人にとって便利だよ。
- ・環境にも配慮した製品づくりは環境問題も解決できるかもしれないよ。

自動運転や環境に配慮した車、誰もが乗りやすい車など、これからも、お客さんの要望に応え、時代や社会の変化に併せた、よりよい自動車づくりに取り組んでいくことが求められるんだね。

○考える根拠となるように、今までに学習してきたことを振り返るようにする。

(思-②)

消費者や生産者の立場からこれからの日本の工業の発展について多角的に考え表現している。

(態-②)

学習したことを基に、消費者や生産者の立場などからこれからの工業について、多角的に発展を考えようとしている。

## 1. 単元名 「日本の工業生産と貿易・運輸」

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1) 教材化

本単元では、原材料や工業製品の輸出入の特色、原材料や工業製品の輸出入や工業製品の出荷には、海上輸送、航空輸送、陸上輸送など日本国内や世界の交通網が使われていることを基に、貿易や運輸の役割について理解するようにします。

#### (2) 学習過程

本単元では、交通網の広がり外国との関わりに着目して、貿易や運輸の様子について、例えば原材料や工業製品はどのような輸送手段で運ばれるか、我が国の工業は外国とどのような関わりがあるかなどの問いを設けて調べたり、貿易や運輸と工業生産を関連づけて考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

#### (3) 学習活動

本単元では、地図帳や地球儀を用いて貿易相手国の位置を調べ、白地図などにまとめることや、工業生産に関わる人々の工夫や努力を調べたりして図表などにまとめるようにします。ここでは、統計などの資料やコンピュータなどを適切に使って情報を集める技能、地図帳や地球儀を用いて、位置や経路、分布や地域間のつながりなどを読み取る技能などを身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

我が国の工業生産について、工業の交通網の広がり、外国との関わりなどに着目し、地図帳や各種の資料などで調べたりしてまとめ、貿易や運輸の様子を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、国土には工業の盛んな地域が広がっていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①交通の広がり、外国との関わりについて、地図帳や地球儀、各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、貿易や運輸の様子を理解している ②調べたことを文などにまとめ、貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。	①交通の広がり、外国との関わりなどに着目して、問いを見出し、貿易や運輸の様子について考え表現している。 ②工業生産と運輸や貿易の働きを関連付けて、貿易や運輸が工業生産に果たす役割を考え表現している。	①我が国の貿易や運輸について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

単元の構想と評価（4時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>① 製品の販売において、工業生産を支える重要な役割を果たしていることについて、工業生産における世界各国との結びつきに着目して問いを見出し、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p>	<p>○既習の工業生産で作られた製品がどこへ運ばれていたかについて思い出せるように学びの足跡等を提示にする。</p> <p>○「貿易」という言葉の意味をおさえる。</p> <p>○外国との行き来ができなくなるとどうなるか問うことで貿易や運輸の重要さに目が向けられるようにする。</p> <p>(思-①) 自動車の輸出に関する資料をもとに、日本と外国との貿易関係について問いを見出している。</p> <p>(態-①) 日本と外国との貿易関係について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>
<p>外国の都市を走る車 自動車が輸出されている様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本で作られた自動車がどこかへ運ばれていくよ。</li> <li>・日本車は外国でも人気があるんだね。</li> </ul>	
<p>日本の自動車の主な輸出先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自動車は運ばれているんだね。</li> <li>・国同士で品物を売買することを貿易というんだね。</li> </ul>	
<p>原油タンカーとの様子と原油の輸入の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原油はほとんど輸入なんだね。</li> <li>・貿易ができなくなると自動車の燃料や工業製品作れなくなり困ってしまう。</li> </ul>	
<p><b>(単元を見通す学習問題)</b> 日本の貿易には、どのような特色があるのだろうか</p>	
<p>予想をもとに、学習計画を立てよう</p>	
<p>&lt;予想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車だけでなく、他の機械も輸出していると思うよ。</li> <li>・世界中の国と貿易をしているはずだよ。</li> </ul> <p>&lt;調べること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな物を輸出・輸入しているのか調べよう。</li> <li>・どんな国と貿易しているのか調べよう。</li> <li>・輸出品、輸入品を運ぶ方法を調べよう。</li> </ul>	
<p><b>もっと日本の貿易や運輸について知りたいな。まずは、輸出しているもの、輸入しているものを調べよう。</b></p>	
<p>②日本の主な輸出入品の種類とその相手先、輸出入の変化に着目して、日本の貿易の特色を分かるようにする。</p>	
<p>日本は、どこからどのようなものを輸出・輸入しているのだろうか</p>	

日本の主な輸出品の輸出・輸入の相手先

日本の主な輸出品・輸入品の変化

- ・日本は自動車以外にも多くの工業製品を輸出している。
- ・年間で70兆円も輸出している。輸出によって、日本の工業は大きな利益をあげている。
- ・最近では機械類や衣類などの製品の輸入が増えている。

燃料や原料の輸入の割合と工業製品の輸出の割合

日本の主な貿易相手先

- ・日本の貿易相手国のうち輸入額が多いのは、中国・オーストラリア・アメリカで、多くの原料が日本に送られている。
- ・工業生産に使う燃料や原料は輸入に頼っている。
- ・日本は原料を輸入して、それを製品にして輸出している。

**日本は中国や韓国など近くの国々を中心に、多くの工業製品を輸出している。燃料や原料は遠くの国から多く輸入している。日本は天然資源がとれないから、工業生産に使う燃料や原料を輸入に頼っているんだね。けれども、優れた技術を生かした製品を輸出することで日本の工業生産は成り立っているんだね。**

③交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子をとらえ、運輸が工業生産における重要な役割であることを分かるようにする。

貨物列車・トラック輸送の様子

- ・輸入品や輸出品を飛行機や船に乗せている人がいる。
- ・工業生産や貿易には輸送が絶対に欠かせないものだ。

工業生産や貿易を支える運輸の働きを調べよう

日本の主な鉄道・道路・航路・空港

いろいろな輸送方法（教科書）

- ・輸送方法によって時間、重量、費用に違いがある。運ぶ物によって使い分けられるようになっている。
- ・高速道路や新幹線等、日本中に輸送網が張り巡らされている。

(知-①)

日本の輸出入の現状について複数の資料を関連づけて読み取り、日本の貿易の様子について理解している。

○それぞれの輸送手段のメリットデメリットについても考えることで、長所を生かして輸送を使い分けていることに気づけるようにする。

環境を考えた輸送方法「モーダルシフト」

- ・安全で確実に運ぶだけでなく、環境のことも考えてこれからも持続していけるような工夫をしている。

**海に囲まれた日本では、運ぶ物や量、期間によって輸送方法を選ぶことができる。それぞれの輸送手段の長所を生かした確実な輸送の働きが日本の工業生産と貿易を支えているんだね。**

④輸入から輸出までの貿易の流れを図に整理して、日本の貿易や運輸の特色や役割について考え、貿易や運輸が工業生産を支える重要な役割を果たしていることを分かるようにする。

(単元を振り返る学習問題)

日本の貿易には、どのような特色があるのだろうか

調べて分かったことを図にまとめよう

これまでのノート、資料、掲示物

日本の貿易額の変化

- ・日本は年間約 150 兆円もの貿易を行っている。この 50 年で、貿易額は何倍にもなっている。
- ・貿易相手国は世界各地に広がっており、そのための運輸が整備されている。輸送方法ごとの特色を生かして、日本全国、世界各国に効率的に輸送している。
- ・日本の工業生産は、原料を輸入し、製品を輸出している傾向がある。加工貿易という言葉もある。

貿易や運輸の役割について自分の考えをまとめよう

貿易の進め方を考える

**日本の工業生産は、発達した輸送手段や交通網によって、外国から燃料や部品などを輸入し、製品を輸出することで成り立っているんだ。つまり貿易や運輸は、日本の工業生産を支える重要な役割を果たしている大切なものだ。しかし、貿易摩擦などの問題もあり、環境のこととともに、これから先も貿易の在り方を考え続けていかねければならないよね。**

(知-①)

資料から読み取ったことをもとに、様々な輸送手段の特色について整理して、工業生産や貿易における運輸の役割を理解している。

(思-②)

これまでの学習を基に、工業生産と貿易・運輸のはたらきを関連づけながら、貿易や運輸の果たす役割について考え、表現している。

(知-②)

日本の輸出入までの流れを図に整理し、貿易や運輸が工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。

## 1. 単元名 「日本の工業生産の今と未来」

### 2. 単元作りのポイント

#### (1) 教材化

本単元では、自分たちの身の回りには様々な工業製品があること、我が国では様々な種類の工業生産が行われていることなどを基に、我が国の工業生産の概要を理解するようにします。また、我が国には海岸沿いに大きな工業地帯が広がっていること、工業が盛んな地域は全国各地に分布していることなどを基に、我が国の工業生産の概要を理解するようにします。そして、工業製品の改良と国民生活の向上とは深い関わりがあること、工業製品は国民生活はもとより、農業や水産業、工業などの中で使われていることなどを基に、日本の工業生産の役割について理解するようにします。

#### (2) 学習過程

本単元では、工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、例えば、日本はどのような工業が盛んか、工業の盛んな地域はどのように広がっているか、工業製品はどのように改良されてきたかなどの問いを設けて調べたり、工業製品と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

本単元では、学習したことを基に、消費者や生産者の立場、人々の安全、環境、価格、利便性、バリアフリーなどに対する願いが工業生産により実現されることや優れた技術やその向上が我が国の工業をより発展させること、工業生産を通じた我が国と外国との関わり方など、我が国の工業の発展について自分の考えをまとめることが大切です。その際、新しい技術やそれを生かした工業製品を研究開発し、それらを輸出したりしていることや、高齢化社会への対応や環境への負担を少なくするために工業製品の開発に努力していることなどを取り上げ、今後の工業の発展について考えようとする態度を養うことなども考えられます。

#### (3) 学習活動

我が国の工業生産について、地図帳や地球儀を用いて、工業の盛んな地域の広がり調べ、白地図などにまとめるようにします。ここでは、統計などの資料やコンピュータなどを適切に使って情報を集める技能、地図帳や地球儀を用いて、位置や分布などを読み取る技能、仕事の工程や協力関係を図表などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

我が国の工業生産について、工業の種類、工業の盛んな地域、工業製品の改良などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料などで調べ、まとめることで、我が国の工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業が盛んな地域が広がっていること及び、工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、必要な情報を集め読み取り、工業生産の概要を理解している。 ②調べたことを図表や文にまとめ、我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び、工業生産は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。	① 工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目し、問いを見出し、工業生産の概要について考え、表現している。 ② 工業の種類や生産額、工場生産が盛んな地域の分布などの情報を総合したり、工業製品の改良と国民生活の工場を関連付けたりして、工業生産が国民生活に果たす役割を考え表現している。	①我が国の工業生産について予想や学習計画をたてたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

5. 単元の構想と評価（4時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<div data-bbox="153 259 895 421" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>身の回りの工業製品について解決に向けて問いを見出し、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> </div> <div data-bbox="153 439 692 510" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>身の回りの工業製品の産地を調べよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お菓子や飲み物は国内でつくられているよ</li> <li>・衣類やコンピュータは外国でつくられているね</li> <li>・車は日本でつくられていると学んだね</li> </ul> <div data-bbox="153 685 580 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工業製品の仲間分けをしよう</p> </div> <div data-bbox="153 779 453 851" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工業の種類(教科書)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業製品は、機械製品、金属製品、化学製品、食料品、せ</li> </ul> <div data-bbox="153 927 647 999" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>国内の工業生産額の変化(教科書)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械工業が日本の工業生産の中心なんだね。</li> <li>・日本の工業生産は40年前と比べると増えているね</li> </ul> <div data-bbox="153 1124 895 1267" style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>(単元を見通す学習問題)</b> 日本の工業生産にはどのように特色があるのだろうか</p> </div> <div data-bbox="153 1312 469 1370" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習計画を立てよう</p> </div> <p>&lt;予想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車工場のように、海沿いに工場が多いと思う</li> <li>・これからの日本の工業生産額は減っていくのかな</li> </ul> <p>&lt;調べること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場の多い地域について調べよう。</li> <li>・これからの日本の工業生産について調べよう。</li> </ul> <p><b>もっと日本の工業生産について知りたいな。まずは、工業生産がさかんな地域を調べよう。</b></p> <div data-bbox="153 1859 895 2029" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>②工業生産のさかんな地域の分布や工業がさかんな地域の周辺の様子から、工業のさかんな地域の分布には交通網との関係があることを分かるようにする。</p> </div>	<p>○工業製品と児童の生活のつながりを感じさせるために、家電製品や衣服、文房具などをも取り上げてよい。</p> <p>(思一①) 身の回りの工業製品に着目し、問いを見出している。</p> <p>(態一①) 日本の工業生産の現状について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>

工業生産はどのようなところで、さかんに行われているのだろうか

工業のさかんな地域や都市（教科書）

工業地帯・工業地域別の工業生産額（教科書）

- ・海岸沿いに工業地帯が広がっているのね。
- ・内陸にも工業がさかんな地域があるよ。
- ・ほとんどの工業地帯で機械工業がさかんなんだね。

川崎港の様子（副読本かわさき）

内陸の高速道路付近の工場と空港近くの工場の写真  
（社会科資料集）

- ・海沿いの工業地帯には、大きな船があるから、たくさんの工業製品が運べるよ
- ・内陸の工業地域の近くには高速道路があるから、輸送しやすい場所に工場があるんだ。
- ・空港の近くにも工業がさかんな地域があるんだね。

**工業がさかんな地域は、多くのものを輸送しやすい海沿いや輸送に便利な高速道路や空港の近くの内陸にある。**

③工業製品の改良と国民生活の工場を関連付けたりして、工業生産が国民生活に果たす役割を考え表現するようにする。

主な電化製品の国内生産台数の変化（教科書）

国内の工場数と工場働く人の数の変化（教科書）

- ・日本の工業も課題がありそうだね。
- ・これからも工業が発展するために何か取り組んでいるかな

これからの成長が期待される工業とは、どのようなものだろうか

少子化や高齢化が進む社会を支えるロボット（教科書）

人々の命を救う精密機械（教科書） など

- ・工場働く人は常に努力をし続けているね。

（知一①）

必要な情報を集め、読み取り、工業の種類や工業の盛んな地域の分布など調べたことを理解している

○少子高齢化以外にも、環境、人を助ける、楽しさや安らぎ、伝統の技術を生かすといった視点で今後期待される工業や工業製品を調べられるのも良い

○工業製品は国民生活だけでなく、農業や水産業も支えていることについても振り返る。

日本の工業の高い技術を生かして、人々の暮らしに役立つ工業製品がさらに開発・生産されようとしているんだね。

④調べたことを図表にまとめ、我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び、工業生産は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解できるようにする。

**(単元を振り返る学習問題)**

日本の工業生産にはどのような特色があるのだろうか

調べて分かったことを図にまとめよう

これまでのノート、資料、掲示物

日本の工業生産は、主に機械工業が中心で海沿いや輸送に便利な高速道路や空港の近くでさかんに行われている。農業、水産業も工業製品を使うことで発展してきた。工業生産者が様々な改良や開発を行い、製品をつくっているから私たちの暮らしは便利で豊かなんだね。

**(思一②)**

工業製品の改良と国民生活の向上を関連付けて、工業生産が国民生活に果たす役割を考え表現している。

○工業製品と児童の暮らしのかかわりを感じさせるために、家庭にある製品がなかったらどんな暮らしになるか問いかけるのもよい。

**(知一②)**

工業生産のさかんな地域の分布や地域の周辺の様子から、交通網との関係があることや工業生産は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。